

池原 昭治の

さやまの今

第98話

市内の夏まつり

いよいよ祈ったもんだ、そして、沢では「ご神体はとくに荒っぽく腹立ち神さまと呼ばれ、さわったり人間のつごうで祭りの日時をかえると、おおいに怒りだし疫病をふりまくそうです」との伝えもあります。

「天王さま」は、古来より気性がはげしく荒ぶる神さまで「牛頭天王」とか「スサノオノミコト」といわれ、ま夏に流行る疫病などは、かんたんに退散させるのだといわれ、勇壮で、ごう快なおみこしが「ワッショイ、ワッショイ」と家々をまわります。子どもたちは、朝から赤飯・まんじゅう・うどんのごちそうをほおばり、お店を駆けめぐります。



七月中旬の土曜日、日曜日のころ、市内の各地で行われる「天王さま」の夏まつりのおはなしです。



入間川では、「天王さまは、お・こ・ん・と・お・っ・か・ね・え・だ・い・な、天王さまのおみこしが向こうからくると、おおいそぎで家の中へ逃げ込んだもんだ」、堀兼では「たいへん荒っぽい神さまで、疫病や災害を村から追い払ってくれる神さまとして信仰されています」と伝えられています。また、柏原では「天王さまは、荒れるのがあたりまえで、夏の病気に敗けな

わかるかな？

今月の写真クイズ



写真は、今月の広報さやまの中に掲載してある写真の一部を拡大したものです。何ページの何の写真でしょうか？

解答をお寄せいただいた正解者の中から、抽選で5名の方に記念品をさしあげます。官製はがきで、広報課宛お送りください。

締め切り7月31日(当日消印有効)



【6月10日号の写真クイズの答え】

17ページ、動物公園のクロエリハクチョウの写真でした。

表紙の写真

市内の小・中学校では、6月中旬から水泳の授業が始まっています。まだあまり日焼けしていない生徒たちは、少し寒い日でも元気いっぱい水泳を楽しんでいました。梅雨が明けると、いよいよ夏本番です。狭山台プール(狭山台北小学校東側)と南入曾公園プール(不老荘南側)の市営プールが、7月19日(土)にオープンします。ご家族やお友達同士お誘い合わせのうえ、ご来場ください。



アオバズク (フクロウ目フクロウ科)

全長28cm。フクロウよりずっと小さく鳩ほどの大きさです。頭部から体の上面は、こげ茶色で尾には黒い横斑があります。下面は白地にこげ茶色の縦斑があり、足と目は黄色く夏鳥として全国の平地から山地の林に渡来します。市街地の公園や神社、寺など大木のある場所で多く見られ、日没から活動し、ガヤコガネムシなどの昆虫類を食べますが、小鳥やカエルなども捕まえます。「ホッホー、ホッホー」と二声で鳴き、これをフクロウの声と思いがちです。

埼玉県生態系保護協会狭山支部
高橋昇さん(中新田)

市内でも一年を通してフクロウの仲間を4種類ほど目にすることがありますが、年々その数は減っています。アオバズクは、市内では広瀬神社をはじめ、大木のある神社などで毎年のようにその姿が確認されています。